資料５

長崎県五島市沖における協議会（第7回）

～振興策の実施状況について～

令和8年1月26日（月）
長崎県五島振興局
4階大会議室

五島市

長崎県五島市沖における協議会意見とりまとめ

３.留意事項
（２）地域や漁業との共存及び漁業影響調査について
・選定事業者は、地域や漁業との共存共栄の理念のもと、地域や漁業との協調・共生のための基金を五島市と協議の上設立すること。基金の運用に当たっては、透明性を確保すること。

⇨ ①　発電事業者は、地域や漁業との共存共栄の理念のもと、地域や漁業との協調・共生のための基金を五島市と協議の上設立すること。

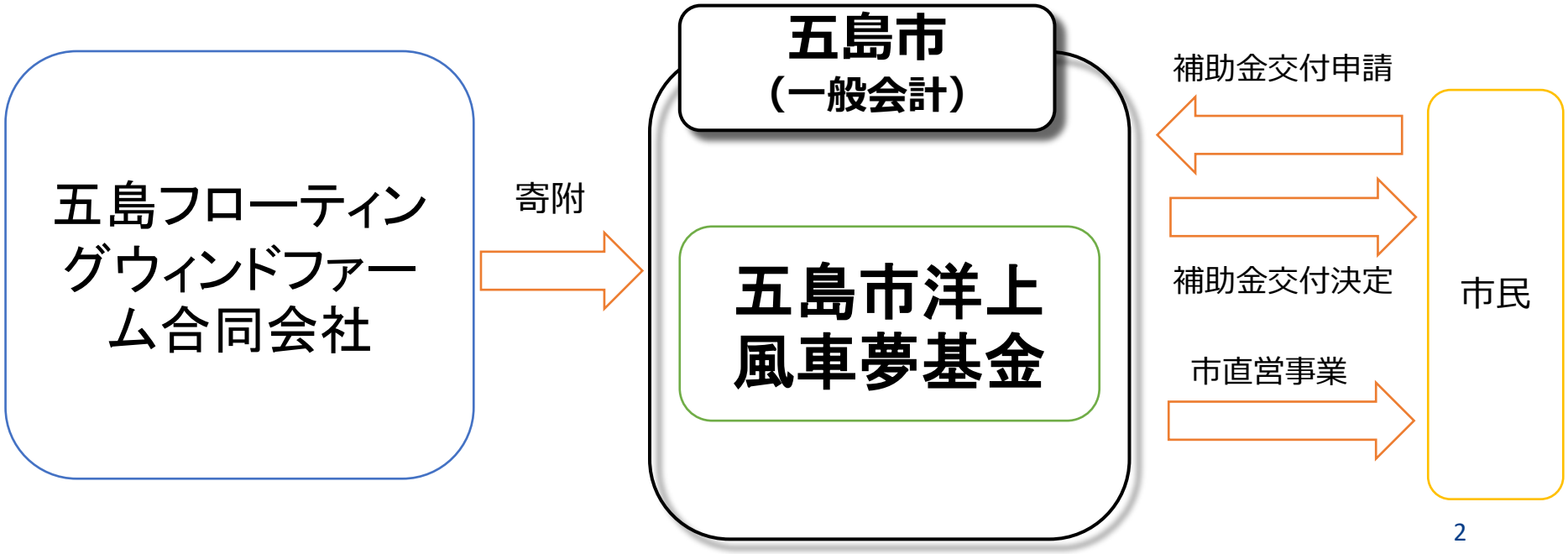
⇨ ②　①の基金の運用に当たっては、透明性を確保すること。

地域振興策について

洋上風車夢基金を設立し、地域振興策を令和６年度以降20年間実施する。

地域振興策
①こどもたちへの人材育成・投資（海外研修補助）
②環境保全（電気自動車導入補助）

【事業スキーム】



地域振興策について（R6年度）

①こどもたちへの人材育成・投資（海外研修補助）

五島市中学生国外体験学習事業

・目　的　　グローバル社会が進んだ現代社会で、中学生が今後の進路・職業選択を行う上で、国外の状況を自分たちの目や耳で感じ、体験することでキャリア教育を行うこと。

・期　間　　令和6年8月6日（火）～12日（月）

・研修地　　シンガポール

・参加者　　市内中学生2～3年生　8名　　・参加費　5万円

・総事業費　4,399千円（うち、基金から3,998千円）

日程表(7日間プラン)　HIS

	日付	都市名	時間	交通機関	スケジュール	食事
1	8／6 (火)	福江港 博多港	10:30 17:50	フェリー	福江港～フェリーにて、博多港へ 到着後、公共交通期機関を利用し、ホテルへ(博多駅周辺予定) 【福岡市内ホテル泊】	夕:各自
2	8／7 (水)	福岡空港 シンガポール 着	09:55 15:00	SQ655 専用車	✈空路、シンガポールへ シンガポール到着 到着後、ホテルへ、チェックイン 【ロイヤルアットクィーンズ　ホテル泊】	朝:ホテル 昼:機内 夕:レストラン
3	8／8 (木)	シンガポール滞在	午前 午後	専用車 MRT (公共交通機関)	研修①シンガポール大学キャンパスツアー 研修②B＆Sプログラム(ブラザー&シスタープログラム) ・シンガポール大学にて現地大学生とディスカッション ・シンガポール大学の学生と一緒にグループに分かれて、市内散策(各自昼食) 【ロイヤルアットクィーンズ　ホテル泊】	朝:ホテル 昼:フードコート (各自現地払い) 夕:レストラン
4	8／9 (金)	シンガポール滞在	午前 15:00	専用車	研修③SDGsプログラム ニューウォーター,マリーナ・バラージ、ガーデンズ・バイ・ザ・ベイ 終了後、ホストファミリーと合流 【ホストファミリー　泊/2名1家庭】	朝:ホテル 昼:カフェテリア (各自現地払い) 夕:ホームステイ
5	8／10 (土)	シンガポール滞在			ホストファミリーと過ごす 【ホストファミリー　泊/2名1家庭】	朝:ホームステイ 昼:ー(各自現地払い) 夕:ホームステイ
6	8／11 (日)	シンガポール滞在	午前 午後	専用車	ホストファミリーとお別れ 研修④:シンガポール市内視察研修 ▸プラナカン居住地(車窓)▸シンガポール国立競技場(車窓)▸ラッフルズ卿上陸地▸マーライオン公園▸タンジョンパガー散策▸The Shoppes at マリナーベイ散策▸サンテックにある『富の噴水』(車窓)▸エスプラネード(車窓)▸空港 【機中泊】	朝:ホームステイ 昼:フードコート 夕:レストラン
7	8／12 (月)	シンガポール 発 福岡空港 着 福岡空港 長崎駅 長崎港	01:20 08:20	SQ656 高速バス ジェットフォイル	✈空路、帰国の途へ 空港到着 高速バスにて、長崎駅へ 長崎港よりジェットフォイルにて、福江港へ	朝:機 昼:各自 夕:各自

地域振興策について（R7年度）

①こどもたちへの人材育成・投資（海外研修補助）

令和7年度五島市中学生国外体験学習事業

・目　的　　グローバル社会が進み、政治や経済、文化や芸術など国や地域を越えた交流が多くなっている現代社会において、中学生が今後の進路・職業選択を行う上で、国外の状況を自分達の目や耳で感じ、体験することでキャリア教育を行うことを目的とする。また帰国後は、国外での経験を英語で発表するなど、グローバル人材として不可欠な発信力を育成すること

・期　間　　令和7年8月4日（月）～10日（日）5泊7日

・研修地　　シンガポール

・参加者　　市内中学生2～3年生　12名　　・参加費　5万円

・総事業費　5,542千円（うち、基金から4,000千円）

研修行程　HIS

日付	都市名	時間	交通機関	スケジュール	食事
【1】 8月4日 月	福江港発 博多港着	10:10 17:50	フェリー 公共交通機関	福江港から博多港へ 到着後、ホテルへ移動していただきます 【変なホテル福岡博多泊】	朝 × 昼 × 夕 ×
【2】 8月5日 火	福岡発 シンガポール着	10:00 15:00	公共交通機関 SQ655 専用車	ホテルチェックアウト後、福岡空港へ移動 →空路、シンガポールへ 到着後ホテルへご案内いたします 【ホテル泊】	朝 ○ 昼 機 夕 ○
【3】 8月6日 水	シンガポール 滞在	10:00 15:30	公共交通機関 各ホスト	研修①B&Sプログラム （6名1グループ/2組） ホストファミリーと合流 【生徒：ホームステイ/引率：ホテル泊】	朝 ○ 昼 × 夕 ○
【4】 8月7日 木	シンガポール 滞在	10:00 15:00	公共交通機関 各ホスト	研修②企業研修 （HISシンガポール支店） 研修③SDGsプログラム （シティギャラリー、マリーナ・バラージ、ガーデンズ・バイ・ザ・ベイ） ホームステイ先へ 【生徒：ホームステイ/引率：ホテル泊】	朝 ○ 昼 × 夕 ○
【5】 8月8日 金	シンガポール 滞在	終日		ホストファミリーと過ごす 【生徒：ホームステイ/引率：ホテル泊】	朝 ○ 昼 ○ 夕 ○
【6】 8月9日 土	シンガポール 滞在	午前 午後	専用車	ホストファミリーとお別れ 研修④：ジョホールバル観光 夕食後、空港へご案内いたします 【機中泊】	朝 ○ 昼 ○ 夕 ○
【7】 8月10日 日	シンガポール発 福岡着 長崎港発 福江港着	1:20 8:20 15:40 17:05	SQ656 専用車 高速船	→空路、福岡へ 空港到着後、長崎港へ 長崎港より福江港へ 到着後、解散	朝 機 昼 × 夕 ×

※上記スケジュールは、航空会社及び現地の事情により予告なく変更になる場合がございます。

地域振興策について

②環境保全（電気自動車導入補助）

クリーンエネルギー利用促進事業

・目　的　　五島市ゼロカーボンシティ計画に掲げる重点推進プロジェクトを早期に達成するため、電気自動車を購入したものに対し、電気自動車購入費補助金を交付する。

・対象者　　新車の電気自動車を購入した方で五島市に住民登録のある方。

・補助金の交付額　10万円/台

・令和6年度予算額1,000千円
（執行済み額300千円（3台分））

ゼロカーボンシティ実現に向けた重点推進プロジェクト

	プロジェクト名称	関連する取組
重点推進プロジェクトⅠ	再生可能エネルギー電力の拡大プロジェクト	洋上風力発電等
重点推進プロジェクトⅡ	電力の自家消費・レジリエンス強化プロジェクト	太陽光発電・蓄電池
重点推進プロジェクトⅢ	省エネ・オール電化推進プロジェクト	高性能省エネ機器・EMS
重点推進プロジェクトⅣ	電気自動車普及プロジェクト	EV
重点推進プロジェクトⅤ	建物の脱炭素化推進プロジェクト	ZEH/ZEB
重点推進プロジェクトⅥ	市民の理解増進プロジェクト	廃棄物減量化・節電

【重点プロジェクトⅣ：電気自動車普及プロジェクト推進計画】

令和5年度（2023年度）	令和6年度（2024年度）	令和7年度（2025年度）	令和8年度（2026年度）	令和9年度（2027年度）	令和10年度（2028年度）	令和11年度（2029年度）	令和12年度（2030年度）
5台	15台	20台	20台	30台	40台	50台	50台

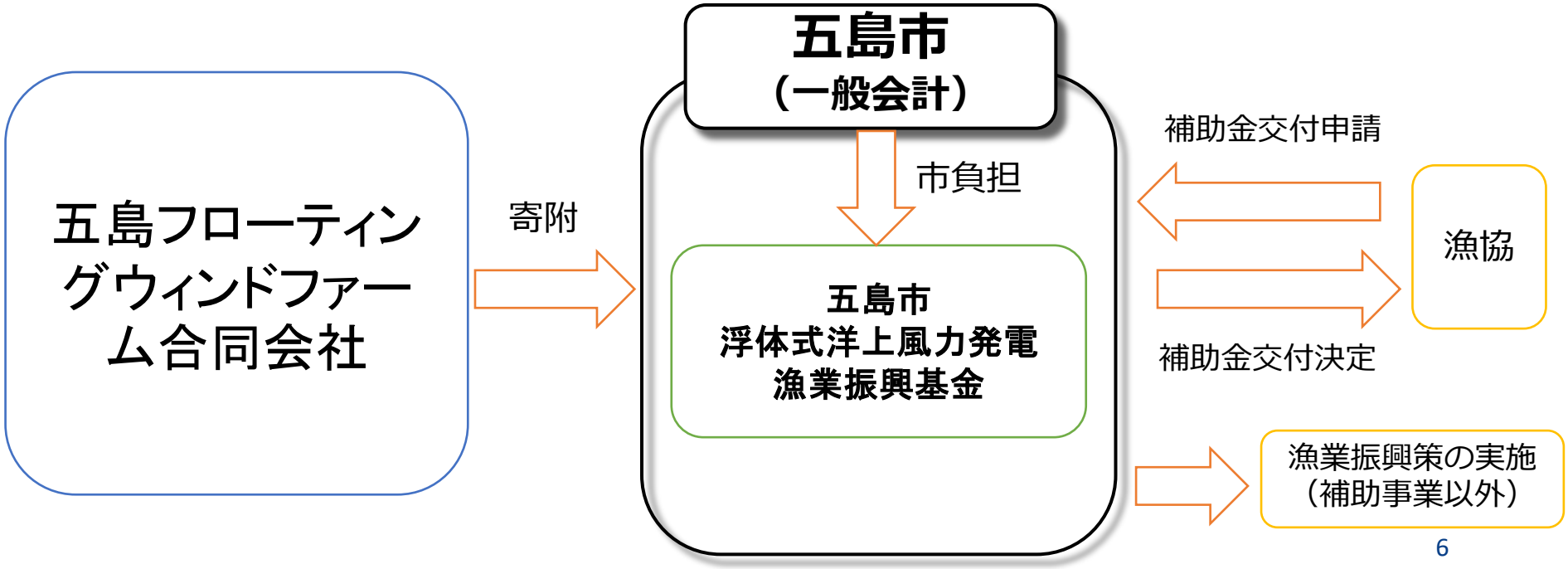
漁業振興策について

五島市浮体式洋上風力発電漁業振興基金を設立し、漁業振興策を令和６年度以降20年間実施する。

漁業振興策　(1)漁船保険料補助
(2)その他漁業振興に資する事業

※事業の具体的な内容については五島市と関係者（漁協等）が協議のうえ策定し、それに基づく振興策の実施状況については協議会へ報告するものとする。

【事業スキーム】



漁業振興策について

令和6年度より以下の漁業振興策を実施中である。

補助対象者	事業区分	補助対象経費	補助率	補助の条件等	令和6年度執行済額
市内の漁業協同組合	漁船保険支援	対象期間内に支払った漁船保険の保険料	1/10以内	・正組合員及び准組合員であること、等。漁業種別毎に補助条件あり。	8,148千円
	漁船長寿化支援	漁業者の漁船のオーバーホール修繕経費	1/2以内	・正組合員及び准組合員であること、等。	5,558千円
	特定漁業者支援	対象期間内に購入した漁業用の餌代	1/3以内	・正組合員及び准組合員であること。 ・促進区域内で操業実績があったと漁協が指定する漁業者、等。	1,200千円
	特定漁業者支援	対象期間内に購入した漁業用の燃油（重油、軽油）	5円/ℓ以内	・正組合員及び准組合員であること。 ・促進区域内で操業実績があったと漁協が指定する漁業者、等。	2,118千円
	共同利用施設支援	漁業協同組合所有の共同利用施設（運搬車等含む）の修繕・購入等	10/10以内	・漁協の施設であること。 ・共同利用施設（製氷施設、荷さばき施設、冷凍施設等）であること。	3,914千円
長崎県旋網漁業協同組合	安全操業活動支援	海難防止講習会開催に係る経費	10/10以内	・主催者が補助対象者（長崎県旋網漁業協同組合）であること。	462千円
合計					21,400千円